

【平成18年3月期 決算記者会見資料】

①契約の状況等

		05年3月期	05年9月期	06年3月期
新契約年換算保険料	(百万円)	8,306 (28.2%減)	7,239 (87.6%増)	13,030 (56.9%増)
うち第三分野	(百万円)	1,697 (5.9%増)	293 (68.6%減)	293 (82.7%減)
保有契約年換算保険料	(百万円)	68,339 (6.9%増)	72,984 (12.9%増)	74,117 (8.5%増)
うち第三分野	(百万円)	9,434 (7.5%増)	8,512 (5.7%減)	7,711 (18.3%減)
保険料等収入	(百万円)	126,003 (19.3%減)	107,503 (91.4%増)	208,153 (65.2%増)
うち個人保険分野	(百万円)	112,423 (19.4%減)	100,389 (101.6%増)	194,357 (72.9%増)
うち団体保険分野	(百万円)	10,944 (18.2%減)	4,534 (16.0%減)	8,951 (18.2%減)
新契約高	(百万円)	299,732 (32.5%減)	102,995 (35.7%減)	162,783 (45.7%減)
保有契約高	(百万円)	2,913,030 (7.1%減)	2,782,043 (8.0%減)	2,665,417 (8.5%減)
解約・失効高	(百万円)	425,146 (18.0%減)	223,442 (3.4%増)	418,694 (1.5%減)
解約・失効率	(%)	13.56 (2.09ポイント低下)	7.67 (0.78ポイント上昇)	14.37 (0.81ポイント上昇)

* 保険料等収入以外は個人保険＋個人年金保険

* ()内は前年同期比増減率

* 解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出

* 保険料等収入は損益計算書ベース

* 保険料収入のうち個人保険分野は個人保険＋個人年金、団体保険分野は団体保険＋団体年金の合計保険料

* 年換算保険料の対象は個人保険と個人年金。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

②資産の状況等

		05年3月末	05年9月末	06年3月末
総資産	(百万円)	727,258 (6.6%増)	817,414 (16.7%増)	934,116 (28.4%増)
実質純資産額	(百万円)	41,195 (18.9%増)	36,242 (18.7%減)	64,567 (56.7%増)
実質純資産額／一般勘定資産	(%)	8.5 (1.6ポイント上昇)	7.8 (1.1ポイント低下)	13.6 (5.1ポイント上昇)
ソルベンシー・マージン比率	(%)	721.7 (263.1ポイント低下)	1,090.3 (361.0ポイント低下)	1,947.7 (1,226.0ポイント上昇)

* ()内は前年同期比増減率

③基礎利益・逆ざや・利回り等

		05年3月期	06年3月期	07年3月期予想
基礎利益	(百万円)	△6,746 (—)	△7,037 (—)	△80億円

* ()内は前年同期比増減率

		05年3月期	06年3月期	07年3月期予想
逆ざや額	(百万円)	3,924 (69減)	4,306 (381増)	40億円

* ()内は前年同期比増減実額

		05年3月期	06年3月期	07年3月期予想
基礎利益上の運用収支等の利回り	(%)	1.29	1.14	1.1弱
運用利回り(一般勘定)	(%)	1.18 (1.17)	0.01 (1.07)	0.7強 (0.9強)
平均予定利率	(%)	2.2	2.19	2.2強

※運用利回りについては、金銭の信託運用損益(変額個人年金リスクヘッジ)を除いた数値を括弧内に記載しております。

④準備金

		05年3月末	05年9月末	06年3月末
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	672,449 (47,309増)	765,986 (132,628増)	861,827 (189,378増)
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	427,335 (20,459減)	414,695 (19,990減)	405,103 (22,232減)
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	245,113 (67,768増)	351,291 (152,619増)	456,724 (211,610増)
価格変動準備金	(百万円)	284 (90増)	334 (90増)	364 (80増)
危険準備金	(百万円)	1,598 (1,132増)	3,143 (2,452増)	5,134 (3,536増)
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	1,598 (1,132増)	2,661 (1,970増)	2,989 (1,390増)
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	—	—	—
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	—	481 (—)	2,145 (—)
危険準備積立金	(百万円)	—	—	—
価格変動積立金	(百万円)	—	—	—

* 危険準備積立金・価格変動積立金は、剰余金処分後の残高を記載。

* ()内は前年同期比増減実額

⑤含み損益

		05年3月末	05年9月末	06年3月末
有価証券	(百万円)	3,136 (1,532増)	2,724 (1,328増)	△1,360 (4,496減)
うち国内株式	(百万円)	64 (34減)	157 (113増)	265 (201増)
うち国内債券	(百万円)	3,730 (2,801増)	1,854 (117増)	△2,693 (6,423減)
うち外国証券	(百万円)	△693 (161増)	△150 (1,131増)	53 (747増)
うちその他の証券	(百万円)	34 (1,396減)	863 (32減)	1,013 (979増)
不動産	(百万円)	— (—)	— (—)	— (—)

* 不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とする。再評価前・後のいずれの水準かは注記のこと

* ()内は前年同期比増減実額

⑥固定資産の減損処理

		05年3月末	05年9月末	06年3月末
減損損失	(百万円)	—	—	—

⑦運用実績と計画

		05年度実績	06年度計画
国内株式	(百万円)	103減	減少
国内債券	(百万円)	45,754増	増加
外国株等	(百万円)	3,503減	減少
外国債券	(百万円)	3,401減	減少
不動産	(百万円)	37減	横ばい

⑧資産の含み損益がゼロになる水準(06年3月末時点)

		06年3月末
日経平均株価	(円)	11,870程度
TOPIX	(ポイント)	1,266程度
国内債券	(%)	1.7程度
外国証券	(円)	124程度

* 株式は日経平均およびTOPIXにフル連動させ、株式の評価基準にあわせて算出

* 国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第一位まで算出

* 外国証券はドル円換算にて算出

⑨07年3月期の業績見通し

		07年3月期予想
保険料等収入	(億円)	2,900
保有契約年換算保険料	(億円)	800
保有契約高	(億円)	23,700

⑩銀行との資本持ち合いについて

i 銀行からの拠出

		総額
基金(株式)に対する拠出	(百万円)	該当なし
劣後ローン等	(百万円)	該当なし

* 銀行からの拠出の劣後ローン等は、劣後ローン及び劣後債

* 銀行からの拠出の株式は3月末の時価

ii 銀行への拠出

		総額
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	—
劣後ローン等	(百万円)	16,995

* 基金拠出者以外の金額も含む

* 銀行への拠出の保有している株式には、優先株を含む。(各行・グループの海外現法への出資は除く)

* 銀行への拠出の劣後ローン等は、劣後ローン、劣後債及び優先出資証券

⑪職員数

		05年3月末	05年9月末	06年3月末
営業職員	(人)	493 (48.3%減)	95 (87.0%減)	1 (99.8%減)
内勤職員	(人)	456 (6.4%減)	442 (7.3%減)	297 (34.9%減)

* ()内は前年同期比増減率

⑫銀行窓販の状況

			05年3月期	06年3月期	窓販開始以来実績 02年10月～06年3月
変額年金保険	新契約件数	(件)	6,359 (49.2%減)	17,858 (180.8%増)	44,829
	金額(収入保険料)	(百万円)	51,623 (37.8%減)	115,360 (123.5%増)	302,692
定額年金保険	新契約件数	(件)	— (—)	— (—)	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	— (—)	— (—)	—

* ()内は前年同期比増減率

			販売開始以来実績 05年12月～06年3月
一時払終身 (銀行窓販)	新契約件数	(件)	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—
一時払養老 (銀行窓販)	新契約件数	(件)	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—